

定 時 総 会 資 料

(第 4 3 回)

日 時 : 2022年2月12日(土) 午前10:00～
場 所 : 茨城司法書士会館、Z o o mミーティングルーム

茨城青年司法書士協議会

2021年度役員一覧

会 長	宮 部 正 樹
副会長	田 中 麻衣子
理 事	久 松 伸 一 (会計担当)
理 事	須 藤 勇 樹
理 事	諏 訪 知 子
理 事	山野邊 義 敏
理 事	根 本 泰 河
理 事	松 井 直
理 事	太 田 亮 介
理 事	三田村 哲
理 事	富 山 純
監 事	森 島 和 彦
監 事	莊 原 直 輝

第43回定時総会議事次第

1. 開会の言葉

2. 会長挨拶

3. 来賓祝辞

4. 議 事

(1) 議長選出

(2) 議事録作成人並びに議事録署名人指名

5. 議 題

(1) 報告第1号 2021年度事業報告の件

(2) 議案第1号 2021年度決算報告承認の件

(3) 議案第2号 役員改選の件

(4) 議案第3号 2022年度事業計画（案）承認の件

(5) 議案第4号 2022年度予算（案）承認の件

6. 閉会の言葉

2021年度総括

会長 宮部 正樹

2020年初めからの新型コロナウイルス感染症は、今年度も度重なる変異により感染拡大と終息を繰り返し、思い通りに事業執行をするのが難しい面がありました。振り返ってみれば12月にかけて感染が収まった時期が、ほとんど唯一の、会場を設けての研修会と懇親会を開催する機会だったといえ、この時期を捉えてそのような会員交流の機会を作れなかったことは、非常に心残りであります。

後述するように、今年度は全青司において『月報全青司』の発行担当会としても活動した一年でした。太田亮介委員長のもと、理事の多くが月報委員を兼任し、理事以外の方の協力もいただいて1年間月報発行と青司協事業を執行できたことは、理事及び委員にとっての財産になったものと思います。支えていただいた理事をはじめ、研修会、相談会等の各種事業執行にご協力いただきました会員の皆様に心より感謝申し上げます。

以下、簡単ではありますが、総括させていただきます。

1. 研修事業

今年度は、3回の研修会を開催しました。開催方法を検討するにあたっては、会場を設けての開催が可能かどうか、会場とZ o o mの併用とするか、Z o o mのみとするかを常に理事で議論ながら決定しました。結果としては、3回とも全てZ o o mのみによる開催となりました。

Z o o mによるオンライン形式の研修会はもはや標準となり、時間と距離を気にすることなく研修会に参加いただけるようになりました。その反面、課題もあると感じています。研修会本体と同じかそれ以上に重要な、研修終了後に行われる懇親会において会員間で交わされる、研修テーマに関連する実務上の相談や司法書士業務全般に関する意見交換の機会が失われてしまうことです。こういった観点から、第1回研修会後には「フリースタイルタイム」、第2回研修会後にはオンライン懇親会を開催しました。また、第3回研修会においては、令和3年度の茨城司法書士会新人研修会受講対象者とその前年度の令和2年度新人研修会受講対象者にも案内を行い、第3部では新人の方を中心とした意見交換会を開催しました。新しく司法書士として一步を踏み出す方に、業務について色々と相談できる場として茨城青司協を認知してもらい、会員の維持・増加を図ることが、今後ますます重要になってくるものと思います。

2. 相談事業、法律教室

① 市民法律教室・無料相談会

今年度も昨年に引き続き、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、市民法律教室・無料相談会は中止といたしました。

② 電話相談事業

全青司が実施する養育費と生活保護に関する電話相談会に、いずれも茨城司法書士会共催という形でそれぞれ参加しました。新型コロナウイルス感染症の影響も心配されましたが、2部屋にそれぞれ2～3人の少人数で、マスクをし距離を取るなど、感染対策に留意しながら行いました。

9月に行われた「全国一斉子どものための養育費相談会」では全国で126件、茨城で5件の相談に対応しました。令和4年1月に行われた「全国一斉生活保護相談会」では、全国で197件、茨城で9件の相談に対応しました。相談が繋がった相談者の背後にはその何倍もの困窮者が存在することを念頭に、この相談会で終わることなく、普段の業務から困窮者の声に耳を傾け、適切な相談対応をしていくことが重要と考えます。

③ 児童養護施設の法律教室

児童養護施設からは継続的に法律教室の開催希望があり、今年度は2021年2月と11月の2回、オンラインの方法により法律教室を開催しました。2回とも、1か所の児童養護施設単独での開催ではなく、アフターケア事業の実施団体が中心となり、それに応募した複数の児童養護施設をオンラインで繋ぎ、法律教室や法律クイズを実施しました。本年4月からいよいよ成年年齢が18歳に引き下げられることから、本事業の重要性も一層高まるものと思います。引き続き本事業を実施してくため、今後も皆様のご参加をお願いいたします。

3. 親睦活動

今年度も、新型コロナウイルス感染症の影響により会場を設けての研修会を開催することができず、前述のとおり、第2回研修会の終了後にオンライン懇親会を開催しました。もちろん、オンラインであればお金もかからず、遠方でも気にせず行き帰りの時間はほぼゼロという利点もありますが、研修会の余韻を感じながら、同じ空間で食事をし、研修会の内容や日々の業務、私生活等について会員で語り合うというのは容易に代えがたいもので、青司協活動の活力源であると思います。

そのような中ではありましたが、10月には家族を交えた懇親事業として、城里町の御前山ハイキングを開催することができました。距離を保ち、秋の空気を感じながらゆったりと散策や会話を楽しみ、大変有意義な懇親事業になったものと思います。

4. 全青司関連

① 月報発行担当会としての活動

冒頭のとおり、今年度は全青司において月報発行委員会としても活動をおこないました。太田亮介委員長のもと、通常の青司協役員会の他に月報委員会会議を開催し、全青司の事業執行の状況に合わせて各委員会などに対し原稿執筆依頼・校正作業を行い、全国に月報全青司を届けることができました。太田委員長及び

各委員の方々、月報に登場していただいた会員各位に御礼申し上げます。本来コロナ禍でもなければ月報の取材活動として全国で行われる全青司委員会の活動に参加したりと見聞を広げる機会ともなるはずでしたが、それを差し引いても貴重な経験となったものと思います。

② 「月報全青司」の電子化（通称「e-月報」）

全青司においてここ数年の懸案であった「月報全青司」の電子化が決定され、2021年10月から開始しました。電子化に際しては、会員の皆様へのご案内を行い、特にお申し出がない限り「e-月報」への登録をさせていただくことといたしました。10月から12月の移行期間（紙の月報と「e-月報」の両方が届く期間）を経て、本年1月から本格稼働しています。「e-月報」が届かない、紙形式の月報に戻したい等のご連絡がありましたら執行部にご連絡いただくと共に、メールアドレス等の変更がありましたら忘れずにお知らせください。

③ 関東ブロック青年司法書士フォーラム

11月にZoomにて関東ブロック青年司法書士フォーラムが開催され、当会から3名が参加し、合格者・志望者に対して司法書士としての日々の活動の紹介を行いました。残念ながら、第2部の少人数でのトークセッションへの茨城県内居住者の参加はありませんでした。

④ 2023年度関東ブロック研修会主管について

2023年開催予定の全青司関東ブロック研修会の開催に向けて、今年度から実行委員会が発足しましたが、なかなか具体的な検討を進めることができず、力不足を感じています。ですが次年度早々から活動が本格化していくと思いますので、研修会の成功に向けて皆様の一層のお力添えをいただきますようお願いいたします。

1年間、執行をお預かりしてまいりましたが、私自身の力不足と新型コロナウイルス感染症の影響もあり、思うような活動ができたかという心残りも多い1年間でした。皆様となかなか会うことができず、青司協の活動が見えなくなってしまう危機感から、各事業の終了後に青司協 Facebook に加えて会員メーリングリストへのご報告を行うなど情報発信に努めました。会員メーリングリストも、執行部側からの伝達事項だけでなく、会員間での情報交換や意見提言などにご活用いただくなど、より良い青司協活動のために多くの方々に青司協に関わっていただければ幸いです。そういった一つひとつの積み重ねが、青司協の活性化に繋がっていくものと考えます。私も一会員として、引き続き活動していく所存です。

混沌とした社会で、再び以前のように顔を合わせて楽しく活動できる日々を夢見ながら、総括といたします。1年間、ありがとうございました。

報告第1号

2021年度事業報告

茨城青年司法書士協議会会長 宮部 正樹

2021年度事業につき、次のとおりご報告いたします。

年間事業報告

2021年（令和3年）

- 2月20日（土） 児童養護施設法律教室（水戸市・あいびー他3施設／Webex）
- 2月27日（土） 定時総会（水戸市・茨城司法書士会館／Zoom）
- 〃 全青司定時総会（長野県長野市・JA長野県ビル／Zoom）
- 4月21日（水） 第1回役員会（Zoom）
- 4月23日（土） 第1回全青司代表者会議（Zoom）
- ～24日（日） 〃
- 5月11日（火） 第2回役員会（Zoom）
- 6月19日（土） 第3回役員会（Zoom）
- 〃 第1回研修会（Zoom）
- 7月10日（土） 第4回役員会（Zoom）
- 〃 全青司関東ブロック長野研修会（Zoom）
- 7月17日（土） 第2回全青司代表者会議（Zoom）
- 8月17日（火） 第5回役員会（Zoom）
- 9月11日（土） 第6回役員会（Zoom）
- 〃 第2回研修会（Zoom）
- 9月25日（土） 全国一斉子どものための養育費相談会（水戸市・茨城司法書士会館）
- 10月13日（水） 第7回役員会（Zoom）
- 10月23日（土） 第3回全青司代表者会議（兵庫県姫路市・Zoom）
- ～24日（日） 〃
- 10月31日（日） 秋季懇親事業（城里町・御前山ハイキング）
- 11月 3日（水） 全青司関東ブロック青年司法書士フォーラム（Zoom）
- 11月 9日（火） 第8回役員会（Zoom）
- 11月13日（土） 全青司東京全国研修会（東京都千代田区・日本教育会館／Zoom）
- 11月21日（日） 児童養護施設法律教室（水戸市・あいびー他4施設／Webex）
- 12月11日（日） 第9回役員会（Zoom）

2022年（令和4年）

- 1月15日（土） 第4回全青司代表者会議（福岡県福岡市／Zoom）
- ～16日（日） 〃
- 1月20日（木） 第10回役員会（Zoom）
- 1月29日（土） 第11回役員会（Zoom）
- 〃 第3回研修会（Zoom）
- 1月30日（日） 全国一斉生活保護相談会（水戸市・茨城司法書士会館）

研修事業報告

◇第1回研修会

6月19日（土） Z o o m

「事例報告会」

講師：太田亮介 会員 「時効取得を原因とする所有権移転登記請求訴訟」

「司法書士に知ってほしい表示登記の実務」

講師：松井直 会員（土地家屋調査士）

「フリーストークタイム」

◇第2回研修会

9月11日（土） Z o o m

「負債相続の実務 ～限定承認を中心とした相続人救済のノウハウ～」

講師：司法書士 椎葉基史 先生（東京司法書士会）

◇第3回研修会

1月29日（土） Z o o m

「事例報告会」

講師：市ノ澤創 会員 「失踪宣告」

「本人確認と原本確認～証明書偽造を見破る術－本人確認資料の原本確認の対応～」

講師：株式会社ベルコンピューターシステム 代表取締役 高尾周太郎氏

「新人向け 意見交換会」

相談事業・法律教室事業報告

◇全国一斉子どものための養育費相談会（電話相談）

9月25日（土） 水戸市・茨城司法書士会館

共催：茨城司法書士会

◇全国一斉生活保護相談会（電話相談）

1月30日（日） 水戸市・茨城司法書士会館

共催：茨城司法書士会

◇児童養護施設での法律教室開催

2月20日（土） 水戸市・あいびー他3施設（W e b e x）

講師：田中麻衣子 会員・久松伸一 会員

11月21日（日） 水戸市・あいびー他4施設（W e b e x）

講師：久松伸一 会員

親睦活動報告

◇リモート懇親会

9月11日（土） 第2回研修会後にZ o o mにて開催

◇秋季懇親事業

10月31日（日） 城里町・御前山ハイキング

その他の事業報告

◇青年司法書士フォーラムへの参加

11月 3日（水） Z o o m

◇茨城青司協の活動内容をまとめた「茨城青司協瓦版第18号」を令和3年8月に、
「茨城青司協瓦版第19号」を令和4年1月に発行

◇茨城青司協ホームページ及び Facebook ページの運営

以上

2021年度収支決算書

上記について別紙のとおり監事の意見を添えて本総会の承認を求める。

(2021年2月1日～2022年1月31日)

収入合計 5,430,128 円

支出合計 1,600,814 円

差引残高 3,829,314 円

収入の部

項目	予算額	決算額	比較増減	備考
会費	2,370,000	2,370,000		60,000円×1名 30,000円×76名 15,000円×2名
雑収入	50,000	29	△ 49,971	祝金・助成金・利息等
繰越金	3,060,099	3,060,099	0	
合計	5,480,099	5,430,128	△ 49,971	

支出の部

款	項目	予算額	決算額	比較増減	備考
事業費	研修会費	600,000	145,000	△ 455,000	謝礼金
	相談事業費	100,000	25,870	△ 74,130	110番事業の広報費、通信費等
	市民法律教室	200,000	0	△ 200,000	生活電話相談会 広告費、日当等
	子どもの権利擁護事業	150,000	35,000	△ 115,000	広報費、講師日当等
	災害関連事業費	50,000	0	△ 50,000	関連事業参加補助等
	親睦会費	300,000	23,419	△ 276,581	定時総会・秋季懇親事業
	広報費	200,000	113,930	△ 86,070	瓦版発行費、新聞広告、ホームページ作成等
	関東ブロック研修会	100,000	0	△ 100,000	2023年度関東ブロック研修会事業費
	雑費	100,000	0	△ 100,000	
	小計	1,800,000	343,219	△ 1,456,781	
事務費	通信費	60,000	31,816	△ 28,184	役員通信費、切手代 等
	印刷費	80,000	7,300	△ 72,700	総会資料印刷代 等
	消耗品費	80,000	18,549	△ 61,451	
	支払手数料	30,000	7,480	△ 22,520	振込手数料
	会議費	250,000	165,000	△ 85,000	役員会会場費 役員手当 (15,000円×11名)
	渉外費	600,000	51,450	△ 548,550	他会祝金等
	慶弔費	50,000	0	△ 50,000	香典
	雑費	50,000	0	△ 50,000	
	小計	1,200,000	281,595	△ 918,405	
全青司分担金		948,000	976,000	28,000	詳細は下記のとおり
予備費		1,532,099	0	△ 1,532,099	
合計		5,480,099	1,600,814	△ 3,879,285	
※全青司負担金内訳：		会員12,000円×79名 会員11,000円×2名 特別会員6,000円×1名			

意見書

2021年度茨城青年司法書士協議会収支決算について予算額、収入金額、支払済金額を証票書類、帳簿等と照査の結果、計数については正確であり、予算の執行についても適正であることを認める。

2022年2月12日

監事

森島和彦



監事

荏原直輝



議案第2号

役員改選の件

2022年度役員一覧

会 長 田 中 麻衣子

副会長 久 松 伸 一

理 事 諏 訪 知 子（会計担当）

理 事 宮 部 正 樹

理 事 太 田 亮 介

理 事 山野邊 義 敏

理 事 須 藤 勇 樹

理 事 松 井 直

理 事 根 本 泰 河

理 事 三田村 哲

理 事 根 本 大 輝

監 事 森 島 和 彦

監 事 莊 原 直 輝

2022年度事業計画案

1. 研修会等の開催

実務に関する研修会、法改正等の研究・情報提供

2. 無料法律相談会・市民法律教室

- (1) 地域貢献及び会員の資質向上を目的とした身近な法律問題の講演会の開催
- (2) 上記講演会と合わせた無料法律相談会の開催

3. 子どもの権利擁護に関する活動

- (1) 児童養護施設に対し積極的な働きかけを行い、法律教室を複数回開催
- (2) 児童養護施設退所後の子どものアフターケアを目的とした支援方法の検討
- (3) 茨城県その他の関連団体との情報交換・関係性の構築

4. 各種社会問題等に対する取り組み

- (1) 研修会、研究会及び勉強会の開催
- (2) 各種110番事業の実施

5. 災害被災者に対する支援

大規模災害等に対する支援活動

6. 広報活動

- (1) ホームページの運営及びFacebook等のソーシャルメディアを活用した会員向け及び対外向けの情報発信
- (2) 活動内容の報告のため、茨城青司協瓦版を年2回程度発行

7. 親睦活動

- (1) 会員同士が交流できる機会を提供するための研修会後の懇親会の開催
- (2) 会員の家族を交えた親睦会の開催
- (3) その他各種親睦事業の企画運営

8. 全青司活動への協力

- (1) 全国大会、全国研修会、ブロック研修会等への参加
- (2) 代表者会議及び役員会への参加
- (3) 2023年度関東ブロック研修会の企画・準備

9. 総会のWeb化に対応するための規定の検討

2022年度予算承認の件

上記について下記のとおり本総会の承認を求める。

記

1. 2022年度収入及び支出の総額は、それぞれ
金 6,234,314 円とする（明細別紙のとおり）。
2. 予算に過不足が生じたときは、同一款内の各項目間の
流用ができるものとする。

2022年度収支予算案

(2022年2月1日～2023年1月31日)

収入の部

項目	前年度	今年度	比較増減	備考
会費	2,370,000	2,355,000	△ 15,000	30,000円×78名 15,000円×1名
雑収入	50,000	50,000	0	祝金・助成金・利息等
繰越金	3,060,099	3,829,314	769,215	
合計	5,480,099	6,234,314	754,215	

支出の部

款	項目	前年度	今年度	比較増減	備考
事業費	研修会費	600,000	600,000	0	資料代、会場費、謝礼金 等
	相談事業費	100,000	100,000	0	110番事業等の会場費、広報費 等
	市民法律教室	200,000	200,000	0	会場費、広報費、謝礼金、日当 等
	子どもの権利擁護事業	150,000	150,000	0	法律教室の広報費、日当交通費 等
	災害関連事業費	50,000	50,000	0	関連事業参加補助 等
	親睦会費	300,000	300,000	0	懇親会費補助、家族親睦事業 等
	広報費	200,000	200,000	0	瓦版発行費、新聞広告、HP管理費 等
	関東ブロック研修会	100,000	500,000	400,000	2023年度関東ブロック研修会事業費
	雑費	100,000	100,000	0	
	小計	1,800,000	2,200,000	400,000	
事務費	通信費	60,000	60,000	0	役員通信費、切手代等
	印刷費	80,000	80,000	0	総会資料印刷代 等
	消耗品費	80,000	80,000	0	
	支払手数料	30,000	30,000	0	振込手数料
	会議費	250,000	250,000	0	役員会会場費、役員手当 等
	渉外費	600,000	600,000	0	代表者会議参加補助、全国大会・研修会等参加助成金
	慶弔費	50,000	50,000	0	
	雑費	50,000	50,000	0	
	小計	1,200,000	1,200,000	0	
全青司分担金		948,000	942,000	△6,000	会員12000円×78名 6000円×1名
予備費		1,532,099	1,892,314	360,215	
合計		5,480,099	6,234,314	754,215	

茨城青年司法書士協議会 会則

第1章 総 則

(名称)

第1条 本会は、茨城青年司法書士協議会と称する。

(事務所の所在地)

第2条 本会の事務所は、会長の事務所に置く。

(目的)

第3条 本会は、青年司法書士会員相互の緊密な結合により司法書士の進歩発展に寄与することを目的とする。

(事業)

第4条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 会員相互の親睦
- (2) 業務の研究改善・関連法規の研究・発表
- (3) 研修会の開催
- (4) 友好団体等との交流
- (5) その他本会の目的達成のために必要な事業

第2章 会 員

(会員)

第5条 本会は、正会員及び準会員（以下、「会員」という。）をもって組織する。

(会員資格)

第6条 下記の者は、本会の会員資格を有する。

- (1) 司法書士登録をしている者
- (2) 司法書士の資格を有する者

(正会員及び準会員)

第7条 会員資格を有する者で、本会の目的に賛同し、入会の申込みをした者で、役員会が承認した者を会員とする。

- 2 会員のうち、会計年度2年目以降の者を正会員とし、会計年度初年度の者を準会員とする。

(退会)

第8条 本会を退会しようとする者は、その旨を会長に届けなければならない。

- 2 年度途中の退会であっても、会費は返還しない。

(除名)

第9条 役員会は、正当な事由なく会費を納入しない会員は、その決議により除名することができる。

- 2 役員会において会員として不適当と認めた者は、総会の決議により除名することができる。
- 3 年度途中の除名であっても、会費は返還しない。

第3章 会の機関

(役員)

第10条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会 長 1名
- (2) 副会長 1名
- (3) 理 事 5名以上10名以内(内1名会計担当を兼ねる。)
- (4) 監 事 2名以内

(役員を選任及び任期)

第11条 役員は総会において、司法書士登録後15年以内の会員の中から選任し、その任期は、選任後1年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時総会の終結の時までとする。

(役員の職務)

第12条 第10条に定める役員は次の職務を行う。

- (1) 会長は、本会を代表し、本会の業務を統括する。
- (2) 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代行する。
- (3) 会計は、会の経理を処理する。
- (4) 理事は会務を処理する。
- (5) 監事は会計を監査する。

第4章 役員会

(役員会)

第13条 役員会は、会長、副会長及び理事で組織し、会長が招集する。

(役員会の決議)

第14条 本会の業務執行は、役員会の決するところによる。

- 2 役員会は会長が議長となり、出席者の過半数で議決する。
- 3 可否同数の時は、議長が決する。

(役員会の決議事項)

第15条 次に掲げる事項は役員会の決議を経なければならない。

- (1) 事業計画に関する事項。
- (2) 総会に附議すべき事項。
- (3) 前各号に掲げるもののほか業務の執行に関する事項。

第5章 総 会

(総会)

第16条 本会の総会は、定時総会と臨時総会とし、定時総会は毎事業年度終了後3ヵ月以内に開催し、臨時総会は必要に応じ、会長がこれを招集する。

(総会の議決事項)

第17条 次に掲げる事項は、総会の議決を経なければならない。

- (1) 役員会において、総会に附議すべきと決議した事項。
- (2) 会則の変更に関する事項。
- (3) 収支決算事項。
- (4) 正会員、準会員の除名

(議決の要件)

第18条 総会の決議は、出席会員（準会員を除く）の過半数で決する。但し、可否同数のときは議長が決する。

(議決権)

第19条 正会員は、各1個の議決権を有する。

(議長)

第20条 総会の議長は、総会で選任する。

第6章 会 計

(事業年度)

第21条 本会の事業年度は、毎年2月1日に始まり、翌年1月31日に終わる。

(経費)

第22条 本会の経費は、会費、寄付金及びその他の収支をもってあてる。但し、必要に応じて臨時会費を徴収することができる。

(会費)

第 23 条 会員は、会員の種別に従い次の会費を役員会で定める期日までに全額一括して納付しなければならない。

(1) 正会員 2 年目以降 年額 30,000 円

(2) 正会員 1 年目 年額 15,000 円

(3) 準会員 無料

(慶弔)

第 24 条 会員の福祉を目的とし、相互扶助の精神に基づき、役員会の決議により定める慶弔規定に基づき、慶弔金等を支出することができる。

(出産による会費免除等)

第 25 条 妊娠出産する会員については、役員会の決議により定める出産による会費免除等に関する規定に基づき、会費の免除等を行うことができる。

附 則

(施行期日)

1. この会則は平成 27 年 2 月 14 日から施行する。

茨城青年司法書士協議会慶弔規定

(目的)

第1条 この規定は、会則24条に基づき、茨城青年司法書士協議会の慶弔金の支給に関して定める。

(支給の範囲)

第2条 慶弔金を支給する場合は、次の各号に掲げる場合とする。

- (1) 会員の死亡（弔慰金） 金1万円
 - (2) 会員の配偶者又は第一親等の親族の死亡（弔慰金） 金5,000円
 - (3) その他、役員会において必要と認められたとき
- 2 慶弔金の支給と共に祝電若しくは弔電を送ることができる。

(支出の方法)

第3条 慶弔金は、本規定に基づき会長及び副会長の合意により支出することができる。但し、直近の役員会において当該支出について承認を受けなければならない。

(規定の改廃)

第4条 本規定の改廃は、役員会の決議により行う。

附則

(施行期日)

第1条 この規定は、2015年2月14日から施行する。

茨城青年司法書士協議会 出産による会費免除等に関する規定

(目的)

第1条 この規定は、会則25条に基づき、妊娠し出産する会員（以下、単に「会員」という。）の会費を免除または既に納入済みの場合は還付（以下、「免除等」という。）をすることにより、会員が退会することなく安心して出産し、かつ、妊娠・出産を経ることによっても必要な情報から隔離されることなく速やかに司法書士業務への復帰を遂げることができるよう支援することを目的とする。

(免除等をする会費)

第2条 免除等をする会費は、本会の会費から全国青年司法書士協議会の会費を差し引いた金額とする。

(会費免除等の実施)

第3条 会員からの申し出により、役員会の決定で、当該申請があった日の属する年度の会費に限り、免除等をする手続きを行う。

2 当該申請は、会員が市区町村より母子健康手帳の交付を受けた時から、出産予定日より1年間を経過するまでの間において行うことができるものとし、また、申請期間が複数年度にまたがる場合においても、1回の妊娠において1回の申請を限度とする。

3 当該申請の時にすでに退会している者に対しては、免除等をする手続きは行わない。

(規定の改廃)

第4条 本規定の改廃は、役員会の決議により行う。

附則

(施行期日)

第1条 この規定は、2015年2月14日から施行する。

(経過措置)

第2条 この規定は、2015年2月1日以降に申請可能会員等に対して適用する。

茨城青年司法書士協議会 会員名簿

2022年2月12日現在

No	氏名	No	氏名	No	氏名
1	川又 猛	31	飯村 忠	61	塙 一樹
2	辻本 太平	32	安島 美樹	62	山野邊 義敏
3	野原 達男	33	宮口 明子	63	近藤 有哉
4	宮本 衛市	34	平岡 佳代	64	大柳 幸人
5	田部井 恵子	35	橋本 亮	65	海老澤 慶秀
6	山名 一夫	36	須藤 孝	66	三宅 風太
7	根本 洋治	37	竹内 孝行	67	高木 豊美
8	児玉 卓郎	38	土田 七百人	68	吉村 友紀
9	長谷川 清	39	大塚 学	69	山口 陽一
10	中崎 喜一郎	40	川又 晋	70	根本 泰河
11	藤井 里美	41	中島 麻由子	71	磯崎 益美
12	武藤 徹	42	莊原 直輝	72	橋本 啓司
13	鯉沼 和義	43	田中 麻衣子	73	三田村 哲
14	戸田 進	44	森島 和彦	74	根本 大輝
15	大山 和美	45	松井 智彦	75	小林 諒
16	立川 成一	46	関 裕一郎	76	富山 純
17	八木岡 京子	47	山本 真理子	77	高橋 圭一郎
18	篠塚 健司	48	鈴木 潤	78	早川 有洋
19	塚本 由美	49	宮部 正樹	79	佐竹 宣幸
20	下村 通久	50	須藤 勇樹	80	
21	鈴木 伸洋	51	松井 直	81	
22	大曾根 佑一	52	石井 友佳	82	
23	下山 竜二	53	後藤 一誠	83	
24	竹内 淳	54	諏訪 知子	84	
25	石川 清人	55	伊藤 拓也	85	
26	仁平 由香	56	久松 伸一	86	
27	木村 孝一	57	太田 亮介	87	
28	黒澤 竜太	58	市ノ澤 創	88	
29	岩田 哲孝	59	荒井 秀喜	89	
30	永井 功一	60	矢野 光輝	90	